

## 末梢動脈疾患の治療成績調査ならびに余剰組織等を用いた病因・病態解明に関する臨床研究

### 1. 研究の対象

2002年1月以降2023年9月までに当院で動脈硬化が原因で生じる疾患（上肢、下肢、頸部の動脈狭窄・閉塞、動脈瘤など）に対して外科的手術あるいはカテーテルによる治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

末梢動脈疾患は、動脈硬化の進行により末梢の動脈に病変が生じることで様々な症状をきたす疾患群ですが、生活習慣の変化、糖尿病の世界的増加などから、世界中で患者数が増加傾向にあり、社会的問題となっています。末梢動脈疾患に対しては内服加療、あるいは外科的手術、カテーテル治療等様々な治療法がある一方で、個々の患者さんに対する適切な治療法に関しては未だに明確な答えがありません。また、末梢動脈疾患の進行、すなわち動脈硬化の進行がどの様に起こっていくのか、またどのようにして食い止めることができるのかも不明な点が多く、研究が必要となっています。

本研究では、末梢動脈疾患に対して標準的な治療を実施するにあたって、どのような患者さんがどのような転機を辿っているかを検討し、至適な治療法を提案できるように研究を実施します。本研究では、すでに治療を受けている患者さんについては、基本的には診療記録を用いた研究を実施しますが、手術時に摘出された組織が保存されていた場合には組織を用いて疾患・動脈硬化の進行メカニズム解明に関連した解析を実施する可能性があります。研究期間は、2033年3月31日までを予定しています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、下記の情報を収集させて頂き、末梢動脈疾患の治療成績、病態解明に関する研究を実施いたします。

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、病理検体番号、手術に関するデータ、検査結果治療後の経過、予後に関する情報

試料：カテーテル治療等の血管を穿刺する際に採取する血液、手術で摘出した余剰組織等

### 4. 外部への試料・情報の提供

この研究に参加されますと、研究代表機関である大阪大学医学部附属病院で情報および保存された組織を利用するとともに、本研究に参加する他の共同研究機関に情報・組織を提供する可能性があります。データ及び余剰組織の提供は、特定の関係者以外がアクセス出来ない状態で行います。また、対応表は、研究責任者が保管・管理します。

利用又は提供を開始する予定日：2023年11月

## 5. 研究組織

### <共同研究機関>

吹田徳洲会病院	山倉拓也
大阪ろうさい病院	中村隆
市立豊中病院	藤村博信
日本生命病院	新谷隆

### <研究協力機関>

大阪警察病院	横田純己
大阪暁明館病院	小松誠

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部附属病院 心臓血管外科

研究責任者・代表者：宮川 繁

相談窓口

連絡先：06-6879-3154